令和７年度　埼玉県立常盤高等学校　入学式式辞

令和７年４月８日（火）

色とりどりの花が咲き、若葉が芽吹く、この春の佳き日。令和７年度埼玉県立常盤高等学校入学式を挙行できますことは、教職員一同、この上ない喜びでございます。

ただいま入学を許可いたしました８０名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。新入生の皆さんが「、将来　看護師になりたい」という思いと決意を抱き、常盤高校を志願し、そして今日ここに、入学という日を迎えました

高校受験を乗り越え、入学しましたことは、努力の賜物であるとともに、これまで励まし見守ってくれたご家族やご指導いただいた先生方をはじめとする多くの方々のおかげであることを心に刻み、感謝の気持ちを常に持ち続けてほしいと思います

さて、本校は昭和４５年、埼玉県立常盤女子高等学校として創設されました。これまで本校で学んだ多くの先輩たちは、看護職者として、県内、国内、さらに広く海外でも活躍をしています

ここで新入生の皆さんに常盤高校で学び、将来を担う看護師になるために２つのことをお願いします

一つ目は、看護師に必要な専門的知識や技術をしっかりと身に付け、仲間と共に学んでいってほしいということです

皆さんは、一年生から普通科目とともに、看護の専門科目を学ぶことになります。これまでの勉強と違い戸惑うこともあるでしょう。高度な知識や技術を習得することは、生易しいことではありません。

しかし、将来、信頼される看護師なるためには必要なことなのです。諦めずに、主体的に学ぶ姿勢で取り組んでください

皆さんは一人ではありません。今日、入学した８０名は同じ志を持つ仲間です。本校の校歌の歌詞に「友と手を取り　学ぶとき　天使の声を　胸に聞く」という一節があります。

是非、お互いに励まし合い、支え合いながら、共に学んでいってほしいと願っています。

二つ目は、本校の様々な教育活動を通して、豊かな人間性を身に付けてほしいということです。

変化の激しく。予測が難しい現代社会では、あらゆる分野で技術革新やイノベーションが起きています。ＡＩが人間の仕事を奪ってしまう。そんな時代が到来してきています。

医療現場も例外ではありません。新しい知識や技術が絶え間なく、現れてきています。

看護師としての職責を果たすためには、看護の知識や技術の習得はもちろんですが、豊かな人間性を身に付けることは不可欠です。人として信頼され、成熟することが求められています。これはＡＩにはできません。

これからの高校生活で日々の授業はもちろんですが、学校行事、部活動、あるいはボランティア活動など、さまざまなことに積極的にチャレンジし、多くの経験をし、豊かな人間性を身に付けてください。そして　誰からも信頼される人になってください。

続きまして、保護者の皆様に申し上げます。改めまして、お子様のご入学、誠におめでとございます。大切なお子様をお預かりし、将来、看護のスペシャリストとして羽ばたくことができるよう教職員一同、全力を尽くしてまいります。また、私たち教職員のほか実習先となる病院、老人ホーム、訪問看護ステーションなどの方々、さらに地域の方々のご協力を得ながら、教育活動を進めてまいります

保護者の皆様におかれましても、５年間という長い期間になりますが、本校の教育活動に対して、ご理解とご協力をいただければ幸いです

結びに、本日、ご多用にもかかわらずご臨席賜りました保護者の皆様に厚く御礼を申し上げますとともに、新入生の皆さんこれからの高校生活が、充実したものになりますよう祈念して、式辞といたします

令和７年　４月　８日

埼玉県立常盤高等学校長　鴨志田　新一